



## 農業総合試験場

農業総合試験場は、石川県の農業技術開発の拠点として、21世紀をめざした革新技術の開発・情報化への対応、地域社会への貢献、さらに開かれた試験場として移転改築された。

試験場全体としては48haの敷地に1haの区画水田、転換畑、果樹園等の各種試験圃場、気象観測施設及びふれあい農業広場が整備されている。

本館棟(管理・研究棟)はその中枢施設であり、生物工学、有機分析ハイテクを駆使した施設が完備され、かつ一般開放として場内見学コース、営業相談コーナー、担い手の部屋等の設置もなされている。

建築的には黒瓦の屋根、白いタイルの外壁がシンボリックな建物となり内部に設けられたライトコートは絶妙な息抜き空間となっている。





本館棟 ●所在/金沢市才田町 ●完成/S.62.4  
●敷地/59,797㎡ ●構造/RC造:3F ●延床/5,688㎡



会議棟  
●所在/金沢市才田町 ●完成/H.1.9  
●敷地/59,797㎡ ●構造/S造:1F ●延床/554㎡



農業総合試験場ふれあいセンター

- 所在 / 金沢市才田町 ● 完成 / H.4.10
- 敷地 / 59,797㎡ ● 構造 / S造 : 2F ● 延床 / 523㎡

